

令和元年度 介護予防のための地域ケア個別会議推進研修会の報告

主催：岐阜県 健康福祉部高齢福祉課

対象者：地域ケア会議（企画・実施）を担当する市町村または地域包括支援センター職員

日時：令和 2年 1月 27日（月） 13：30～14：30

場所：中濃総合庁舎 5階大会議室

はじめに

今回、地域ケア会議を担当する県内の地域包括支援センター職員を対象とした研修会にて講師として登壇させて頂きましたので報告いたします。

講演内容

講演内容は下記の3つに分けて行いました。

- ① 介護予防に関するトピックス
- ② 地域ケア個別会議 症例紹介ならびに実践している総合事業の紹介
- ③ 岐阜県理学療法士会の動向

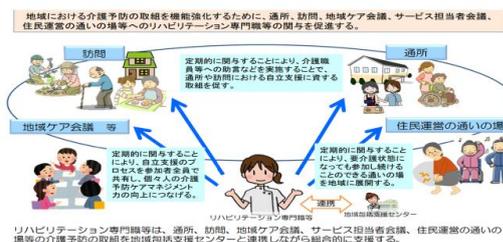


< 講演時の様子：写真提供 岐阜県健康福祉部 >

当日の参加者は岐阜県各所より約80名の方が参加されておりました。



地域リハビリテーション活動支援事業



地域包括ケアシステム

支え合いによる地域包括ケアシステムの構築について

- 「介護」「医療」「予防」といった専門的サービス的前提に「住まい」「生活支援・福祉」の分野が重要
- 自助・共助・互助・公助をつなぎ合わせる（体系化・組織化）役割が重要
- 都市部に至っては「意図的な互助の強化」が必要



自助	介護保険・医療保険の自己負担部分 市場サービスの購入 自身や家族の対応
互助	費用負担が制度的に保障されていない ボランティアなどの支援 住民主体の取り組み
共助	介護保険・医療保険による給付
公助	介護保険・医療保険の公費部分 各自治体レベルで提供するサービス

地域ケア会議推進リーダー 介護予防推進リーダー

上図：12月の研修会の様子
詳細は日本理学療法士協会ホームページにて

地域リハビリテーション活動支援事業の概要

地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。

定期的に関与することにより、介護職員等への指導などを実施することで、通所や訪問における自立支援に資する取組を促す。

定期的に関与することにより、介護職員等への指導などを実施することで、通所や訪問における自立支援に資する取組を促す。

定期的に関与することにより、介護職員等への指導などを実施することで、通所や訪問における自立支援に資する取組を促す。

定期的に関与することにより、介護職員等への指導などを実施することで、通所や訪問における自立支援に資する取組を促す。

リハビリテーション専門職等は、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等の介護予防の取組を地域包括支援センターと連携しながら総合的に実施する。

リーダー取得要件

- ① ラーニング研修
- ② 協会主催導入研修
- ③ 士会指定事業への参加

リーダー認定

はつらつリーダー養成のため シルバーリハビリ体操指導士養成事業



< 当日の配布資料の一部 >

さいごに

この様な研修会にて発信することで、これからも多くの理学療法士の先生方が「地域ケア会議」へ参加され、他職種の方々とのネットワーク構築や、地域課題に対して向き合う「きっかけ」になればと考えます。

今回、このような機会を与えて下さった岐阜県理学療法士会の岸本先生、岐阜県健康福祉部高齢福祉課の担当者さまに深く感謝申し上げます。

のぞみの丘ホスピタル 理学療法士 中津智広